

# 申立書

令和 年 月 日

小田原市長 様

住所 \_\_\_\_\_

所有者

氏名 \_\_\_\_\_ 印

この度、私が建築し、又は取得した次の家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、専ら自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

## 1. 家屋の表示

所在地 \_\_\_\_\_

家屋番号 \_\_\_\_\_

## 2. 家屋の住居表示

\_\_\_\_\_

## 3. 入居予定日

令和 年 月 日

## 4. 現在の家屋の処分方法等 (該当する記号に○を付けてください。)

(ア) 売却する。[添付書類：売買(予約)契約書、又は、売買媒介契約書等の写し]

(イ) 賃貸する。[添付書類：賃貸借(予約)契約書、又は、賃貸借媒介契約書等の写し]

(ウ) 借家、借間、社宅、寄宿舍、寮等である。

[添付書類：現在の賃貸借契約、使用許可証、又は、家主の証明書等の写し]

(エ) 親族等が居住する。[親族等の申立書]

## 5. 入居が登記の後になる理由 (該当する記号に○を付けてください。)

(ア) 抵当権設定を急ぐため。

[添付書類：金銭消費貸借契約書、又は、代金の支払い期日の記載のある売買契約書等の写し]

(イ) その他 \*以下にご記入ください。 [添付書類：事情を明らかにする書類の写し]

理由 \_\_\_\_\_

なお、証明書の交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合は、証明を取り消され税額の追徴を受けても異議ありません。